

スーパーテラ

透水性舗装に用いる透水平板

1. 技術（工法）の概要

雨水は地表の舗装面を流れて、下水や河川に集まり、時として急激な増水、洪水を引き起こすことがある。一方で地下水の枯渇、地盤沈下などが生じている現状では雨水を地下へ浸透させることにより、ある程度問題解決が図られるものと考えられている。

また都市景観が注目され、アメニティ空間、地球や人へのやさしさ、老人福祉の優先、バリアフリーといった言葉に形容されるような最近の風潮がある。

透水平板「スーパーテラ」は、このような時代の要求にマッチした舗装用コンクリート平板で、相反する要求ともいえる強度と透水性を同時に満たすことに加え、美観性、滑り抵抗性をも兼ね備えたものである。

2. 技術（工法）の特徴

- 1) 時間雨量 36mm/h という降雨の、100 倍以上の透水能力 (0.1cm/s 以上) を有する。
- 2) 乗用車 1 台が 1 枚の平板に載っても割れないほどの曲げ強さ荷重 12kN 以上 (平板 300×300×30mm サイズにおいて) を有する。
- 3) 平板表層部に大理石、花崗岩などの美麗自然石を用い研磨仕上げをしているため美しい色調、光沢が保たれ、色あせの心配が無い。
- 4) 表面の研磨にかかわらず、透水孔のため滑らず (50B.P.N 以上 wet)、安全で歩行性が良い。
- 5) 専用目地材を用いることで、砂目地を使用した場合に懸念される平板の目詰まりを防ぐことができる。

3. 技術（工法）のポイント

- 1) 品種 (1 2 種類)、サイズ (5 種類)、厚さ (2 種類) が豊富で様々な用途への適応性が高い。また、寒冷地向け仕様品もあり使用地域を限定しない。
- 2) セメントをバインダーとしているため経年変化、透水孔閉塞が少ない。
- 3) 雨水を平板下部に通すため路盤層を十分に締め固めることが必要。
- 4) 歩道のうち車の乗り入れ部は 8cm 厚さタイプを用いることが望ましい。

4. 技術（工法）の適用、用途

- 1) 表層舗装材として豊富な色、サイズがあり、設計の自由度が大
- 2) 歩道では道路横断方向の水平勾配が不要、街路樹への散水用開口部が不要
- 3) 建物へのアプローチ、駐車場等の装飾的舗装、公園遊歩道、浸水施設整備などでは濡れたとき美しく、かつ滑らない設計を提供
- 4) アーケード街通路 (特に出入口の雨で滑りやすいところ) に最適
- 5) 有機物混入の激しい場所での使用は、清掃の面で不向き

5. 施工例写真



写真一 イオンモール幕張新都心新築工事



写真二 大分駅前南口歩道整備工事

6. 施工実績

平成 22 年度から平成 26 年度末において約 67 万㎡の実績となっている。

主なものは以下の通り。

1) 川崎市	川崎駅東口前広場再編整備工事	12,700 ㎡	H.22
2) UR 都市整備公団	布引運動公園施設整備工事	6,700 ㎡	H.22
3) 東京スカイツリー(株)	業平橋押上土地開発関連工事	4,300 ㎡	H.24
4) 御船町	シンボリロード整備工事	4,000 ㎡	H.24
5) 千葉県企業局	イオンモール幕張新都心新築関連工事	15,000 ㎡	H.25
6) イオン株式会社	イオンモール幕張新都心新築工事	8,000 ㎡	H.25
7) 大分市役所	大分駅前南口歩道整備工事	19,000 ㎡	H.25
8) 奈良市役所	JR 奈良駅前整備工事	3,000 ㎡	H.26

7. 技術保有会社および連絡先

- 1) 株式会社四国総合研究所 (研究・開発)
問い合わせ先: 土木技術部 TEL 087-844-9215
FAX 087-844-9235
- 2) 東洋工業株式会社 (生産・販売)
問い合わせ先: 営業統括本部 TEL 087-862-5411
FAX 087-862-5118

8. 審査証明実施機関

一般財団法人 土木技術センター

9. 審査証明年月日

平成 13 年 3 月 6 日 更新
平成 18 年 3 月 6 日 更新
平成 19 年 10 月 29 日 内容変更
平成 23 年 3 月 6 日 更新
平成 28 年 3 月 6 日 更新